

令和5年度の当初予算を紹介します ～ かわる、はぐくむ、躍動する おかやま ～

問財政課 ☎086-803-1146 FAX086-803-1735

令和5年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症の長期化やエネルギー・食品などの価格上昇が、地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼす中、〇感染症対策・物価高騰対策 に万全を期しつつ、〇街を楽しむ 〇地域の振興 〇子育て・教育 などの各分野、さらにはDX・GXの推進など、重要施策に取り組むとともに、今後の物価高騰対策などにも臨機応変に対応できるよう、業務改革の推進や経常的経費の予算額の見直し、有利な財源および備えてきた基金の活用などにより、将来負担の軽減を含めた一般財源を確保することで、過去最高額となった令和5年度の当初予算においても健全な財政運営を維持しつつ編成しています。

令和5年度当初予算の概要

一般会計は前年度と比べて93億円増（2.6%増）の3,623億円と、過去最高となっています。

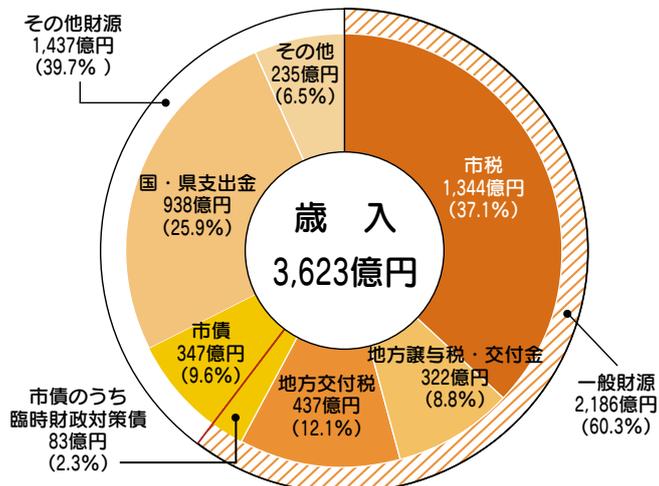
また、一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は6,383億円と、前年度と比べて1.9%増加しています。

当初予算 前年度との比較

区分	令和5年度	令和4年度	対前年度比
一般会計	3,623億円	3,529億円	2.6%増
特別会計	1,992億円	1,960億円	1.7%増
事業会計	768億円	774億円	0.7%減
合計	6,383億円	6,263億円	1.9%増

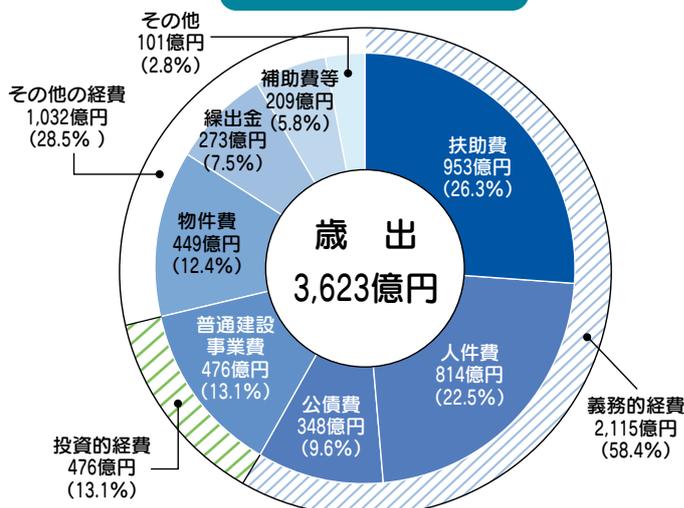
一般会計の内訳【（ ）内は構成比】

歳入



- ▶ 市税は、給与所得増による個人市民税の増加や堅調な企業業績による法人市民税の増加、家屋の新築による固定資産税の増加などにより、対前年度比で27億円増加しています。
- ▶ 市債のうち、臨時財政対策債以外は、岡山芸術創造劇場整備費の減少などにより、39億円減少しています。
- ▶ 国・県支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業や公立幼稚園・保育園の民営化推進事業の増加などにより、66億円増加しています。

歳出 (性質別)

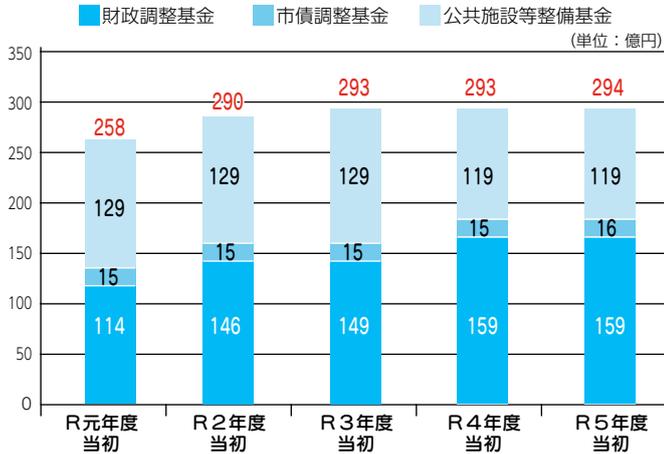


- ▶ 物件費は、光熱水費や岡山芸術創造劇場の指定管理料の増加などにより、対前年度比で59億円増加しています。
- ▶ 扶助費は、障害者自立支援関係費や子どものための教育・保育給付費の増加などにより、11億円増加しています。
- ▶ 普通建設事業費は、新庁舎整備事業費が増加する一方、岡山芸術創造劇場整備費の減少などにより、20億円減少しています。
- ▶ 補助費等は、出産子育て応援給付金事業の増加などにより、15億円増加しています。

財源調整のための基金残高の推移

令和5年度は、光熱水費や建築資材などの物価高騰等に対応するため、財政調整基金の取崩しの増額など、財源調整のための基金から前年比で10億円増の90億円を取り崩しています。

今後の物価高騰や感染状況が見通せない中、あらゆる事態における迅速かつ機動的な対応への備えとして、前年度の決算剰余の積み立てにより**基金の残高を前年度と同額程度に維持し、不足する財源の確保**に努めています。

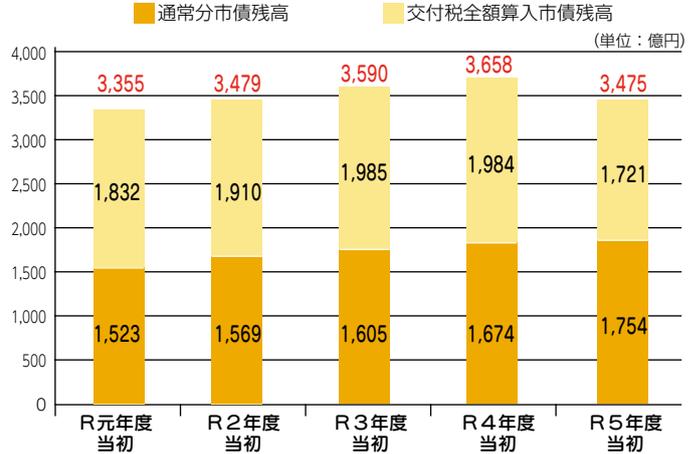


一般会計市債残高の推移

一般会計全体の市債残高のうち、臨時財政対策債等(※)を除いた通常債の残高は、借入額の抑制により継続的に減少してきましたが、喫緊の課題への対応などに伴い令和2年度当初予算から増加に転じています。

今後も公共施設の老朽化対策や再整備などにより、市債借入額の増加が見込まれるため、**後年度に国から財源措置のある有利な市債の活用**に努め、将来の返済が財政を圧迫しないよう、市債残高を管理しています。

(※) 臨時財政対策債等…返済のための財源が全額国から手当されるもの



令和5年度当初予算の特徴 (主要な事業)

「新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策」

- ・感染拡大防止と次なる危機への備え 40億7,062万円
- ・地域経済等への支援 1億1,754万円
- ・市民生活・活動への支援 4億7,659万円

「街を楽しむ」

- ・歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり 1億5,520万円
- ・岡山芸術創造劇場開館に合わせた商店街活性化 9,000万円
- ・市街地再開発事業の促進 42億7,326万円
- ・岡山芸術創造劇場ハレノワの開館 12億600万円
- ・おかやまアーツフェスティバル 8,550万円
- ・多目的屋内施設(アリーナ)の基本計画策定 3,000万円
- ・岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備 17億790万円
- ・バリアフリー推進事業(移動等円滑化促進) 2,780万円
- ・持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けたあり方検討 1,000万円

「地域の振興」

- ・地域の未来づくり推進 1億8,250万円
- ・活力ある農業の振興 2億4,578万円
- ・危険木伐採の支援 200万円
- ・道路ネットワークの充実・強化 37億1,995万円
- ・文化財と観光の融合による新たな魅力づくり 2億8,471万円
- ・新たな生活交通の確保 2,500万円

「子育て・教育」

- ・保育士確保対策 4億3,200万円
- ・保育園等における利便性向上の推進 6,190万円
- ・産後ケア事業 1,370万円
- ・子ども医療費助成 24億4,600万円
- ・困難を抱える子どもとその家庭への支援 11億4,037万円
- ・児童虐待防止の推進 9,380万円
- ・ヤングケアラー支援体制の強化 1,690万円
- ・問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援 4億6,972万円
- ・学校業務アシスト事業 1億500万円
- ・部活動地域移行モデル事業 1,330万円
- ・新教育研究研修センター(仮称)の整備 3,700万円

「産業・観光の振興」

- ・中小企業活性化 1億1,200万円
- ・スタートアップ支援 1億円
- ・企業立地の推進 12億9,200万円
- ・「歴史を伝える城、集う城」岡山城魅力アップ 1億8,000万円

「PHO (Positive Health Okayama)」

- ・アプリを活用した健康的な生活習慣の推進 8,000万円
- ・フレイル対策(早期発見で介護リスク軽減など) 1,040万円
- ・がん対策(がん患者アピアランスサポートなど) 1,260万円
- ・在宅介護総合特区~AAAシティおかやま~の推進 3,954万円
- ・在宅医療介護・在宅看取り等普及啓発 714万円
- ・認知症サポーター活動促進(チームオレンジ) 790万円
- ・地域共生社会の推進(重層的支援体制整備事業) 17億3,328万円

「安全・安心なまちづくり」

- ・野犬対策 3,300万円
- ・下水道・河川等による浸水対策 30億9,350万円
- ・用水路等の転落防止対策 5,000万円
- ・水道施設・管路の耐震化等更新 85億9,400万円
- ・地域防災力の強化(各種ハザードマップの全戸配布など) 4億8,140万円
- ・防犯カメラの設置支援 1,800万円
- ・ごみ処理広域化処理施設の整備・運営 30億8,800万円

「SDGsの推進」

- ・SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクトの推進 3,300万円
- ・海ごみ地域対策の推進 1,000万円

「GX (グリーン・トランスフォーメーション) の推進」

- ・地球温暖化対策 16億4,696万円
- ・プラスチック資源分別回収・リサイクル(再掲) 1億8,480万円

「DX (デジタル・トランスフォーメーション) の推進」

- ・中小企業デジタル化の推進 9,640万円
- ・GIGAスクール構想によるICT活用支援 3億9,300万円
- ・区役所窓口のスマート化 789万円